

真田氏二代略年表

和暦	西暦	主な事跡
永正一〇	一五三三	真田幸綱生れる。
天文一〇	一五三七	幸綱長男(のちの信綱)生れる。
天文一〇	一五四一	五月、海野氏、武田・村上・諏方連合軍に大敗(海野平の合戦)。幸綱は上州箕輪に亡命。
天文二四頃	一五四五頃	幸綱、甲斐の武田晴信に従う。
天文一六	一五四七	幸綱三男(のちの昌幸)生れる。
天文一九	一五五〇	一〇月、武田晴信、村上方の砥石城を攻めて大敗(砥石崩れ)。
天文二〇	一五五一	九月、幸綱、砥石城を乗っ取る。
天文二一	一五五二	幸綱の子(のちの昌幸)、甲府に人質として出仕。
弘治二	一五五六	幸綱、小山田虎満らとともに、川中島を見おろす東条尼飾城を攻略。のち在城。
永禄四	一五六一	九月、第四次川中島合戦。幸綱・信綱も従軍。昌幸初陣と伝わる。
永禄五	一五六二	五月、幸綱、上州吾妻郡の国衆鎌原氏への援軍派遣を命じられる。六月、幸綱・信綱父子が四阿山奥宮を修造する。
永禄七	一五六四	この年末から翌年初め頃、幸綱、出家し一徳斎幸隆と号する。
永禄八	一五六五	真田氏、吾妻郡岩櫃城将となる。昌幸長女(のちの村松殿)生れる。
永禄九	一五六六	昌幸長男(のちの信幸)生れる。
永禄一〇	一五六七	三月、幸綱、上州白井城を攻略。この頃、幸綱が隠居し信綱が家督を嗣ぐ。
元亀元頃	一五七〇頃	昌幸次男(のちの信繁)生れる(生年に異説あり)。
天正二	一五七四	五月、幸綱(一徳斎幸隆)死去。
天正三	一五七五	五月、長篠合戦。信綱・昌輝兄弟が討ち死に。弟の昌幸が家督を嗣ぐ。
天正七	一五七九	一二月、武田勝頼嫡男信勝元服。同時に昌幸長男も元服、「信幸」と名のる。
天正八	一五八〇	二月、真田信綱室於北没する。三月、昌幸、上州小川城を攻略し、五月、猿ヶ京城を攻略。八月には沼田城を攻略。
天正九	一五八一	一月、新府城の普請開始。昌幸も従事。六月、勝頼、昌幸に上州利根・吾妻郡の統治について指図。
天正一〇	一五八二	一月、木曾義昌が離叛し、織田軍の武田領国への侵攻が始まる。三月、勝頼、小山田信茂らに裏切られ、自害(武田家滅亡)。昌幸のもとに北条氏邦から書状が届く。昌幸、織田信長に降伏。岩櫃・沼田を滝川一益に渡す。昌幸生母河原氏と次男(信繁)、一益の人質となる。六月、本能寺の変。上杉・北条・徳川による旧武田両争奪戦(天正壬午の乱)始まる。一益、神流川の戦いで北条氏直に大敗。人質を木曾義昌に引き渡し、伊勢に撤退。昌幸、上杉景勝に従属。七月、昌幸、北条氏直に従属。海津城代春日信達を調略するが失敗。昌幸の弟加津野昌春(真田信尹)が出奔。九月、昌幸、徳川家康に従属。一〇月、家康と氏直の和睦成立。上野は北条領と定められるが、昌幸は吾妻・利根両郡の引き渡しを拒絶(いわゆる「沼田領問題」の始まり)。
天正一一	一五八三	二月、昌幸生母河原氏、家康の人質となる。四月、北条氏邦、沼田・吾妻の真田領を攻撃。昌幸、家康の支援により上田城の築城を開始。その後、昌幸が在城。六月、徳川・北条両氏の軍事同盟強化。北条氏政は家康に沼田領の引き渡しを求める。七月、矢沢頼綱、沼田城を受け取りに来た北条氏邦の使者を切り捨て、上杉景勝に従属。
天正一二	一五八四	三月、小牧・長久手の戦い。織田政権崩壊。四月上杉景勝に従属していた屋代秀正・室賀満俊が徳川家康のもとに出奔。七月、室賀正武、家康の意をうけて昌幸を暗殺しようとして、返り討ちに遭う。昌幸、小県郡をほぼ制圧。
天正一三	一五八五	六月、昌幸、徳川氏から離叛して上杉景勝に従属。七月、羽柴秀吉、関白になる。景勝、昌幸に小県・吾妻・利根三郡を安堵。昌幸次男(信繁)が人質として春日山城に赴く。閏八月、第一次上田合戦。昌幸・信幸父子、徳川勢を撃退。九月、北条氏邦、沼田城を攻撃するが矢沢頼綱に撃退される。一〇月、昌幸、秀吉から支援の約束を得る。十一月、徳川家康の重臣石川数正が秀吉のもとに出奔。これにより家康は信濃から軍勢を撤退させる。一二月、天正大地震。この頃、昌幸は佐久郡攻略を準備。
天正一四	一五八六	五月、北条氏邦、沼田・岩櫃を攻撃するが矢沢頼綱に撃退される。六月、上杉景勝が上洛。八月、秀吉、徳川家康による真田討伐を容認し、その後秀吉みずから真田討伐に出陣すると表明。九月、羽柴秀吉、豊臣姓を賜る。一〇月、徳川家康が上洛し、秀吉に服属。十一月、上杉景勝の嘆願により、秀吉が真田昌幸を赦免。
天正一五	一五八七	三月、昌幸、上洛して秀吉に臣従。秀吉、真田氏を徳川家康の与力大名とする。この後、信

和暦

西暦

主 な 事 跡

天正一六	一五八八	幸、家康の重臣本多忠勝の娘を妻とする。
天正一七	一五八九	七月、秀吉、関東・奥羽国分けの上使を派遣。「沼田領問題」裁定に乗り出す。
天正一八	一五九〇	七月、秀吉の裁定により、沼田城が北条氏直に引き渡される。九月、秀吉、諸大名に妻子の在京を命じる。十一月、北条家臣猪俣邦憲、真田領名胡桃を攻略(名胡桃城事件)。秀吉、北条氏直の非を弾劾、出兵決定(小田原合戦開始)。
天正一九	一五九一	三月、昌幸・信幸、北国勢(東山道軍)に加わり、上野に出陣。七月、北条氏直、降伏し、小田原開城。徳川家康、関東へ転封。沼田領が信幸に返還される。
文禄二	一五九三	この頃、真田信尹が徳川家を出奔、会津の蒲生氏郷に仕える。朝鮮出兵(文禄の役)の動員令が出され、昌幸・信幸、肥前名護屋在陣を命じられる。信繁も秀吉の馬廻として参陣。
文禄三	一五九四	八月、豊臣秀吉嫡男(秀頼)生れる。
文禄四	一五九五	三月、伏見城の普請が始まり、真田家も動員される。四月、昌幸、従五位下に叙される。一〇月、信幸が従五位下・伊豆守、信繁が従五位下・左衛門佐に任じられる。
慶長二	一五九七	七月、関白豊臣秀次が高野山で自害。この年、信幸嫡男(のちの信吉)生れる。
慶長三	一五九八	二月、慶長の役始まる。五月、矢沢頼綱没する。十一月、信幸次男(のちの信政)生れる。
慶長四	一五九九	八月、豊臣秀吉死去。
慶長五	一六〇〇	六月、徳川家康、会津の上杉景勝討伐に出陣。七月、石田三成が大谷吉継を誘って挙兵。毛利輝元が大坂城に入り、家康の弾劾状が出される。真田家は昌幸・信繁が石田三成方(西軍)、信幸は徳川家康方(東軍)につく。九月、第二次上田合戦。徳川秀忠軍は上田城を攻略せず、西へ向かう。関ヶ原で西軍が敗れ、信繁の岳父大谷吉継は討死。一二月、昌幸・信繁父子、上田城を徳川方に明け渡し、高野山に配流。その後、山麓の九度山に移る。信幸、上田(小県郡)を与えられる。
慶長六	一六〇一	信幸、信之に改名。
慶長七	一六〇二	この頃、九度山にて信繁嫡男大助生れる(異説あり)。真田信尹、徳川家に帰参し、甲斐で所領を与えられる。
慶長八	一六〇三	二月、徳川家康、征夷大将軍となる(江戸幕府の始まり)。
慶長九	一六〇四	四月、徳川秀忠が征夷大将軍となる。
慶長一〇	一六〇五	一〇月、信之の岳父本多忠勝死去。
慶長一五	一六一〇	六月、昌幸、九度山で死去(享年六五)。
慶長一六	一六一一	六月、昌幸正室山之手殿、死去。
慶長一八	一六一三	一〇月、信繁、九度山を脱出し、大坂城に入る。惣構南東部に出丸(真田丸)を築いて守備。
慶長一九	一六一四	一〇月、大坂冬の陣始まる。一二月、真田丸の攻防。徳川方(前田勢など)は多数の死傷者をだし、撤退。徳川方、信繁を寝返らせるための調略を始める。講和が成立し、大坂冬の陣終わる。真田丸はじめ、大坂城の二の丸・三の丸・惣構が破却される。
元和元	一六一五	一月、信繁、姉村松殿に書状。二月、信繁、娘婿石合十蔵道定に書状で長女の将来を依頼。
元和二	一六一六	三月、信繁、姉婿小山田茂誠に書状(現在知られている最後の書状)。四月、大坂夏の陣始まる。五月六日、道明寺の戦い。翌七日、信繁、天王寺口で家康本陣を攻撃するが、越前藩士西尾仁左衛門に討ち取られる(享年四六?)。同日、豊臣秀頼・淀殿が自害し、豊臣家滅亡。近侍していた信繁嫡男大助も自害(享年一四?)。
元和三	一六一七	四月、徳川家康死去。
元和四	一六一八	九月、信之室清音院殿(信綱の娘)死去。
元和五	一六一九	二月、信之正室小松殿死去(享年四八)。
元和六	一六二〇	一〇月、信之、上田から松代十萬石へ加増転封。沼田三萬石の城主は嫡男信吉。
元和七	一六二一	八月、家老の出浦昌相死去。
元和八	一六二二	三月、家老の矢沢頼幸死去(享年七六)。
元和九	一六二三	この頃、四十八騎浪人事件(家臣出奔)。六月、昌幸長女村松殿死去(享年六六)。
寛永一	一六二四	五月、昌幸の弟真田信尹死去(享年八六)。
寛永二	一六二五	七月、家老の河原綱家死去。十一月、信之嫡男信吉(沼田藩主)死去(享年四〇)。嫡男熊之助が跡を嗣ぐ。
寛永三	一六二六	八月、信之義兄小山田茂誠死去。
寛永四	一六二七	十一月、信吉嫡男熊之助死去(享年七)。
寛永五	一六二八	沼田藩主は信之の次男信政が嗣ぐ。
寛永六	一六二九	信之、隠居し、松代藩主は次男信政が嗣ぎ、信吉の次男信直が沼田藩主となる。
寛永七	一六三〇	二月、信政死去(享年六二)。
寛永八	一六三一	六男幸道(二歳)が嗣ぐ。
寛永九	一六三二	一〇月、信之死去(享年九三)。
寛永一〇	一六三三	
寛永一一	一六三四	
寛永一二	一六三五	
寛永一三	一六三六	
寛永一四	一六三七	
寛永一五	一六三八	
寛永一六	一六三九	
寛永一七	一六四〇	
寛永一八	一六四一	
寛永一九	一六四二	
寛永二〇	一六四三	
寛永二一	一六四四	
寛永二二	一六四五	
寛永二三	一六四六	
寛永二四	一六四七	
寛永二五	一六四八	
寛永二六	一六四九	
寛永二七	一六五〇	
寛永二八	一六五一	
寛永二九	一六五二	
寛永三〇	一六五三	
寛永三一	一六五四	
寛永三二	一六五五	
寛永三三	一六五六	
寛永三四	一六五七	
寛永三五	一六五八	
寛永三六	一六五九	
寛永三七	一六六〇	
寛永三八	一六六一	
寛永三九	一六六二	
寛永四〇	一六六三	
寛永四一	一六六四	
寛永四二	一六六五	
寛永四三	一六六六	
寛永四四	一六六七	
寛永四五	一六六八	
寛永四六	一六六九	
寛永四七	一六七〇	
寛永四八	一六七一	
寛永四九	一六七二	
寛永五〇	一六七三	
寛永五一	一六七四	
寛永五二	一六七五	
寛永五三	一六七六	
寛永五四	一六七七	
寛永五五	一六七八	
寛永五六	一六七九	
寛永五七	一七八〇	
寛永五八	一七八一	
寛永五九	一七八二	
寛永六〇	一七八三	
寛永六一	一七八四	
寛永六二	一七八五	
寛永六三	一七八六	
寛永六四	一七八七	
寛永六五	一七八八	
寛永六六	一七八九	
寛永六七	一七九〇	
寛永六八	一七九一	
寛永六九	一七九二	
寛永七〇	一七九三	
寛永七一	一七九四	
寛永七二	一七九五	
寛永七三	一七九六	
寛永七四	一七九七	
寛永七五	一七九八	
寛永七六	一七九九	
寛永七七	一八〇〇	
寛永七八	一八〇一	
寛永七九	一八〇二	
寛永八〇	一八〇三	
寛永八一	一八〇四	
寛永八二	一八〇五	
寛永八三	一八〇六	
寛永八四	一八〇七	
寛永八五	一八〇八	
寛永八六	一八〇九	
寛永八七	一八一〇	
寛永八八	一八一一	
寛永八九	一八一二	
寛永九〇	一八一三	
寛永九一	一八一四	
寛永九二	一八一五	
寛永九三	一八一六	
寛永九四	一八一七	
寛永九五	一八一八	
寛永九六	一八一九	
寛永九七	一八二〇	
寛永九八	一八二一	
寛永九九	一八二二	
寛永一〇〇	一八二三	